

## 1 東京都の人口移動等

※出典…「総務省 住民基本台帳人口移動報告」

### (1) 東京都の転入超過の状況



### (2) 3~4月の都道府県間の移動状況

- 3月…対前年 増(+8.0%、+3.9万人)  
→ 特に20~24歳が増加
- 4月…対前年 減(△7.7%、△3.2万人)  
→ 特に15~19歳が減少

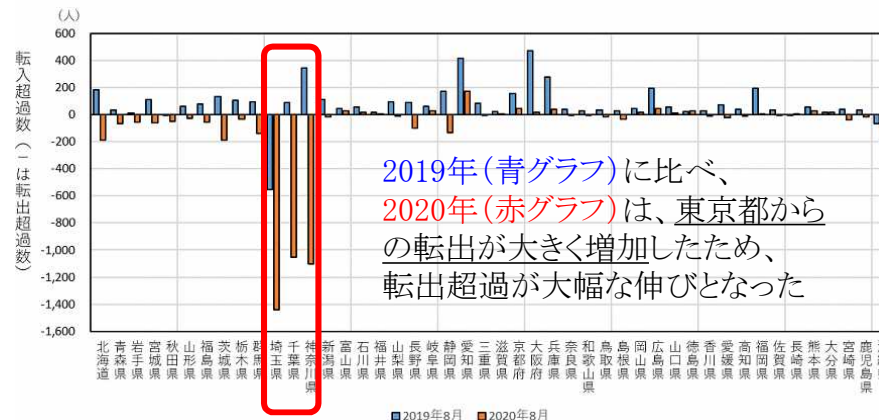


### 都市別 転入超過(4月) (対前年増減)

- 減少  
東京23区(△4,795)  
名古屋(△874)
- 増加  
札幌(+1,393)、仙台(+634)  
大阪(+1,269)、福岡(+1,304)

### (3) 8月の東京⇄都道府県間の移動状況

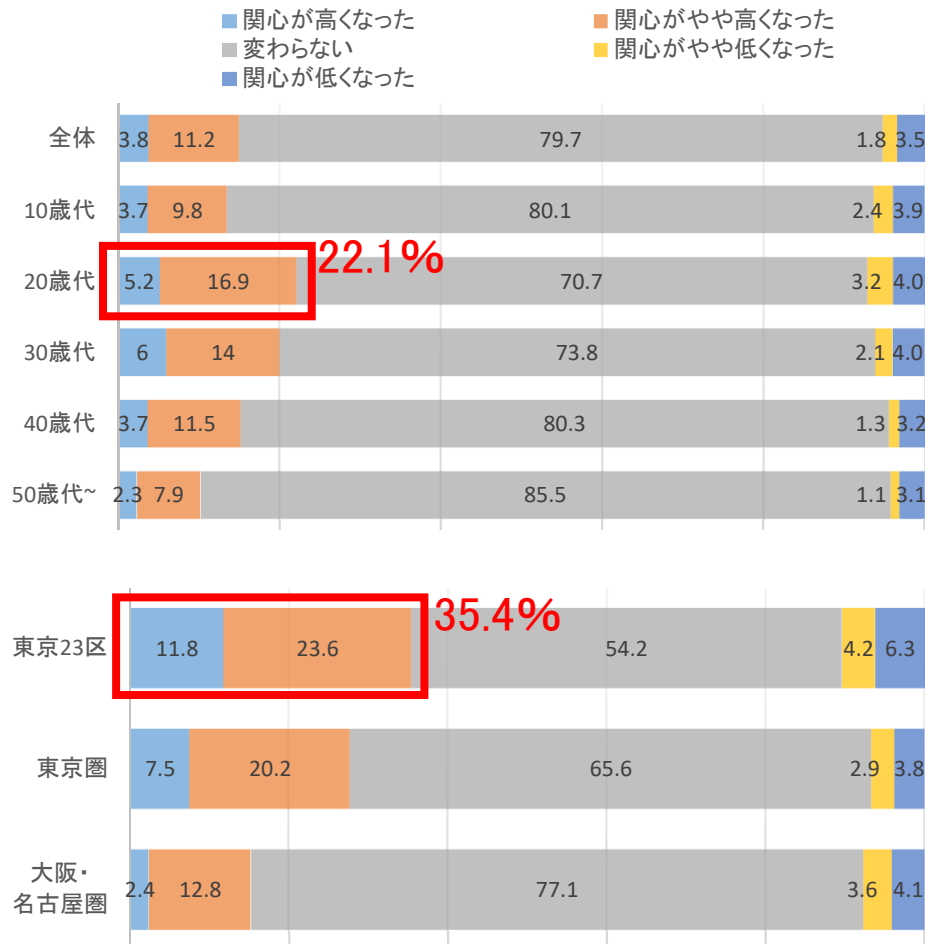
- 8月の東京都の転出超過=4,514人  
⇒ 大半が近隣県へ流出  
(埼玉:1,441人、千葉:1,053人、神奈川:1,101人)



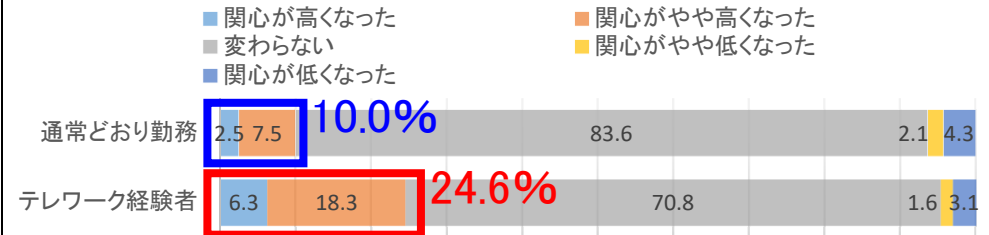
## 2 地方回帰に関する意識等の変化

### (1) 地方移住への関心の高まり

➤ 今回の感染症の影響下において、**地方移住への関心が、特に20歳代、東京23区で高まっている**



➤ **特に、テレワーク経験者の方が、地方移住への関心が高まっている**



※「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(R2.6月内閣府)から事務局作成

### (2) 地方への就業意向等

➤ テレワーク等の推進により働く場所が自由になった場合、**大学生(2021卒)の2人に1人は、地方を希望**

区分(%)	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
地方の企業に勤めたい	47.2	53.3	49.7	45.0	40.7
都市(東京以外)に勤めたい	32.6	29.5	29.6	34.5	36.6
東京の企業に勤めたい	20.2	17.1	20.7	20.5	22.6

区分(%)	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子
地方に住みたい	54.8	57.7	54.9	56.1	49.9
都市(東京以外)に住みたい	30.1	27.5	28.6	29.5	35.2
東京に住みたい	15.1	14.7	16.5	14.4	14.8

※「2021年卒マイナビ大学生 Uターン・地元就職に関する調査」(R2.5月)から事務局作成

# ホ コロナ禍を契機とした地方回帰について③

## 3 ワークーションの取組

### ➤ 和歌山県の取組事例

→サテライトオフィスの開設や誘致、IT(通信)環境の向上などにより、全国に先駆けて取り組む3年間(H29~R1)で104社・910名がワークーションを体験

- ・首都圏からのアクセスの良さ (羽田空港~南紀白浜空港...約1時間、関西国際空港~白浜まで電車で約2時間)
- ・世界・日本トップクラスの観光資源 (熊野古道、リゾート地白浜 ほか)
- ・全国トップクラスのネットワーク環境 (Wi-Fi密度ランキング全国2位 ※(株)タウンWi-Fi調査結果(2018.4月))

### <実施例>

#### 白浜

#### 串本

#### 那智勝浦

ファミリー向け  
3泊4日コース

※写真提供:和歌山県

#### 1日目

11:45 南紀白浜空港着  
家族で白浜観光地めぐり  
15:00 ワークスペースで業務  
家族はエネルギーランドへ



#### 2日目

9:45 ワークスペースで業務  
家族はアドベンチャーワールドへ  
14:00 家族と合流  
18:00 宿泊地で夕食、温泉でのんびり



#### 3日目(レンタカーで串本へ)

10:00 串本海中公園で水族館バックヤードツアー  
14:00 南紀串本リゾート大島へ  
父はテレワーク、家族はランプ手作り体験 他  
18:00 家族でBBQ、星空体験



#### 4日目(レンタカーで那智勝浦へ)

10:00 紀の松島めぐり  
12:30 勝浦にぎわい市場へ  
16:00 白浜へ(レンタカーで2時間)  
19:40 羽田空港着



### ➤ 長崎県五島市の取組事例

→With/Afterコロナの生き方・働き方を見つめ直す  
「島ぐらしワークーション in 五島列島 2021」開催

- 開催期間:2021年1月16日(土)~2021年1月31日(日)  
(滞在期間:3泊4日以上~9泊10日以内)
- 参加人数:50名予定

Wi-Fi環境の整ったコワーキングスペースと、限られた滞在期間でも「島ぐらし」が深く味わえる「民泊体験」「島ごと体験」「島あそび体験」を組み合わせることで、一人ひとりのwell-beingをより高めるワークーションを実現する  
※昨年度の開催ではビジネスパーソンを中心に参加者62名(子ども含む)が来島、イベント終了後9割超から「満足」との回答

